

トビイロウンカ警報発令!

ビイロウンカの大量発生を受け、兵庫県病虫害防除所より9月16日に、平成26年依頼、6年ぶりに警報が発令されました。さらに、神戸北区の予察調査においては、前回の警報発令時以上のウンカの発生を確認しており、収穫期が10月以降となる水稻では“坪枯れ”が生じるおそれがあります。「ヒノヒカリ」、「山田錦」等の品種では、ほ場での発生状況を十分に確認し、防除をして下さい。

特に、これまで一度も薬剤防除を実施していないほ場や苗箱処理剤のみのほ場では、トビイロウンカが多発生している可能性が高いと思われます。

トビイロウンカは同じほ場内でも局所的に発生する傾向があるので、複数の箇所の確認が必要です。確認時に群生が見られたら、早急に防除を実施して下さい。

◎防除対策

農薬名	使用量 (10aあたり)	使用時期	総使用回数
トレボン粉剤DL	3~4kg	収穫7日前まで	3回以内
スタークル粒剤	3kg	収穫7日前まで	4回以内

※稲が黄化するにつれてスタークル粒剤の効果は低下します。できるだけ早めの防除、もしくは可能であれば粉剤の散布を実施しましょう。

お問合せ先 JA兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL: 078-981-5540

FAX: 078-981-5817

＜北区内の水稻を調査しました＞

1 病虫害について

トビイロウンカ(秋ウンカ)を神戸北全地域で発生確認いたしました。今後、個体数の急増による坪枯れ被害が懸念されます。カメムシも一部地域で多発生しており、防除薬剤を適期に散布して被害を最小限に抑えましょう。

病虫害	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
葉いもち病	少	並	一部地域で局所的に発生しています	トビイロウンカや斑点米カメムシに対し、薬剤の適期散布を心がけましょう。
穂いもち病	無	並	ほとんど見られません	
内えい褐変病	無	並	ほとんど見られません。	
紋枯れ病	少	並	一部地域で発生しています	
ヒメトビウンカ	少	並	若干見られる程度です	
トビイロウンカ	少	多	全地域で確認されています。今後、急増して坪枯れ発生が懸念されます	
斑点米カメムシ	少	多	一部地域で多発田を確認しています	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚(中以上で要防除)

2 生育状況について

品種名	莖数	出穂	概況と今後の対策
コシヒカリ	多	コシ・キヌ やや早い	コシ・キヌ：登熟期間中、高温による胴割れ・乳白米等の発生が懸念されます。早期落水をせず、間断灌水をこころがけ、地温を下げてください。
キヌヒカリ 山田錦	並	山田錦 早い～ やや早い	山田錦：斑点米カメムシ・トビイロウンカの被害が懸念されています。防除薬剤の散布を実施してください。出穂後は地温を下げるため、コシ・キヌ同様に間断灌水を心がけてください。

3 今後の生育について【トビイロウンカ・カメムシと高温対策】

7月下旬まで圃場内での発生はほぼ見られませんでしたでしたが、今回の調査でトビイロウンカが広範囲で確認され、カメムシについても一部地域で多発しております。特に未防除水田では被害発生の懸念が高まっています。トビイロウンカの被害に遭いやすい山田錦にはウンカ・カメムシ双方に効果のあるスタークル粒剤を穂ぞろい期に散布し、被害を抑えるよう努めましょう。

しばらくは高温が続くと思われます。間断灌水を積極的に実施して地温を下げましょう。本紙内容の詳細については最寄りのJA兵庫六甲支店営農窓口又は神戸北営農総合センターまでお問い合わせください。

今年度の定期的な病虫害発生予察は今回で終了です。今後、トビイロウンカ等の重要病虫害の被害発生が予想される場合は、臨時で調査・情報発信を行います。

お問合せ先 JA兵庫六甲 神戸北営農総合センター

TEL：078-981-5540

FAX：078-981-5817

<北区内の水稻を調査しました>

1 病害虫について

現状、問題となるレベルでの病害虫発生は確認されておりませんが、今後は高温が予想され、カメムシやトビイロウンカの被害が懸念されます。

病害虫	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
葉いもち病	微	並	一部地域で確認されました	局所的にカメムシの多発生を確認しております。圃場の確認を小まめに行いましょう
縞葉枯病	無	並		
紋枯れ病	少	並	一部地域で確認されました	
セジロウンカ	少	並	要防除基準以下ですが全地域で確認されています。	
ヒメトビウンカ	少	やや多	一部地域で確認されました	
トビイロウンカ	微	やや多	一部地域で若干みられる程度	
ツマグロヨコバイ	少	並	一部地域で確認されました	
斑点米カメムシ	少	やや多	一部地域で発生しています	

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚(中以上で要防除)

2 生育状況について

品種名	草丈	茎数	概況と今後の対策
コシヒカリ	並	やや多い	コシ・キヌ：穂揃い期以降は可能であれば間断灌水などを行い、地温低下を促しましょう。 山田錦：穂肥の時期を迎えています。2回目の追肥(8月15日前後)は粒張りを向上させる重要な作業です。積極的に施用しましょう。
キヌヒカリ	並～やや長い	並	
山田錦	並	並	

3 今後の管理について

8月になり、連日の高温によって出穂後も水田の地温が下がらず、乳白米等の発生や粒張りの悪化が起きやすい状況です。可能であれば夕方に水を入れ替え、地温を下げるよう心がけてください。

山田錦ほ場について、中干し期間の天候により十分に中干しができなかったことから、現在も中干しを継続しているほ場が見られます。穂肥診断から、今年の山田錦の出穂期は例年並～やや早く、25日～26日頃と予想されています。これからは、稲には水が必要な時期ですので、暦を参考に出穂期までの間断灌水、出穂期の湛水管理により健全な穂の生長を促してください。

次回の調査予定日は、令和2年8月21日(金)です。

お問合せ先 J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL: 078-981-5540

FAX: 078-981-5817

<北区内の水稻を調査しました>

1 病害虫について

現状、問題となるレベルでの病害虫発生は確認されておりません。小まめな圃場確認を行い、問題がないか見ておきましょう。

病害虫	発生程度	発生予想	概要	今後の対策
いもち病	微	並	一部地域で発生しています。	緊急の対策は必要ありません。ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除に努めてください。
縞葉枯病	無	並	ほとんど見られません	
セジロウンカ	-	並	予察調査時荒天による調査中止のため不明ですが、長期にわたる雨天のため、大きな発生は今のところないと思われます。	
ヒメトビウンカ	-	並		
ツマグロヨコバイ	-	並		
斑点米カメムシ	-	並		

※発生程度の小さい順に、無・少・中・多・甚（中以上で要防除）

2 生育状況について

品種名	草丈	莖数	今後の栽培管理について
コシヒカリ キヌヒカリ	並	並～ やや多い	コシ・キヌ：梅雨入り前より、斑点米カメムシの発生を確認しております。畔草の刈取は出穂の2週間前までに行ってください。出穂期に畔草刈を行うとカメムシを本田に侵入させることになり、斑点米の原因となりますので注意してください。
山田錦	並	並	ヒノ・山田錦：今後、山田錦は幼穂形成期に入ります。中干しを終え、出穂期まで間断灌水を実施しましょう。

3 その他

山田錦やヒノヒカリは7月下旬までが中干し期間となっています。長雨のため、中干しが思うように実施できない状態ではありますが、水尻を掘り下げたり溝切りを実施するなどして、入水・落水しやすい環境を作りましょう。

次回の調査予定日は、令和2年8月4日（火）です。

お問合せ先 J A兵庫六甲 神戸北宮農総合センター

TEL: 078-981-5540

FAX: 078-981-5817